

# ひめじ創生戦略

〔アクションプラン〕

令和2年度改定版



令和2年2月20日

姫路市

《 目 次 》

I. ひめじ創生戦略〔総合戦略〕 .....	1
1. 姫路市総合計画との統合について .....	1
II. ひめじ創生戦略 アクションプラン 令和2年度改定版 .....	1
1. アクションプラン策定の目的・位置づけ .....	1
2. ひめじ創生に向けた事業展開の考え方 .....	2
3. 成果指標・重要業績評価指標(KPI) .....	4
4. 課題に対応する新規・拡充事業 .....	6
5. 個別の事業・事業内容・成果指標・重要業績評価指標(KPI) .....	8
6. 推進体制 .....	30
(1) ひめじ創生推進本部 .....	30
(2) ひめじ創生戦略会議 .....	30
(3) 市民対話の充実 .....	30
(4) 進行管理 .....	30
7. 各局の地方創生に対する取組みの方針（令和2年度） .....	32

【資料】

・用語解説（50音順） .....	37
-------------------	----

# I. ひめじ創生戦略 [総合戦略]

## 1. 姫路市総合計画との統合について

総合戦略は、計画期間を平成 27 年度 (2015 年度) ~平成 31 年度 (2019 年度) と定め、取り組んできたところであるが、姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン 2020」が、令和 2 年度 (2020 年度) 末に計画期間が終了し、新たな総合計画を策定することから、総合戦略の期間を 1 年延長し、令和 3 年度 (2021 年度) より姫路市総合計画と統合することとする。

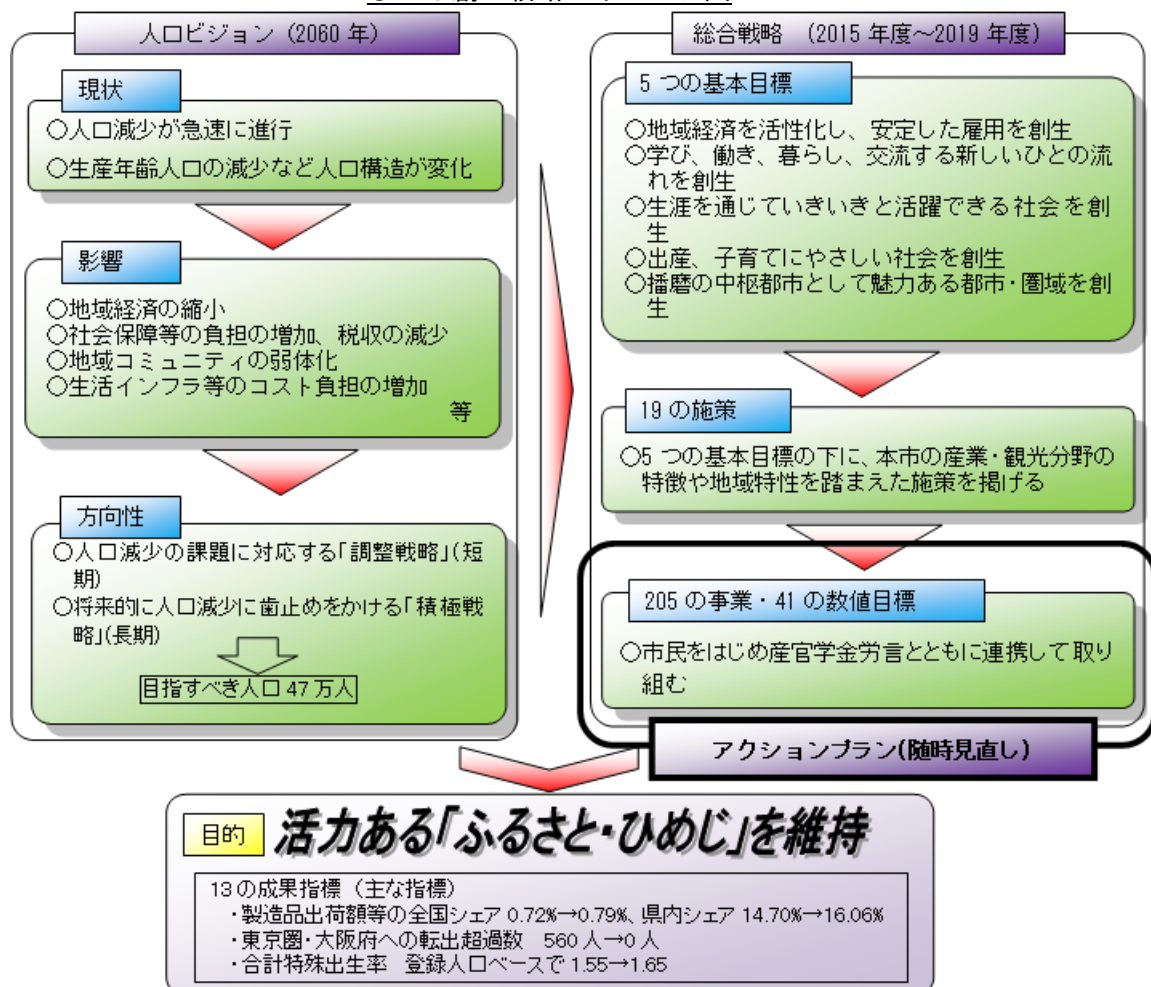
[総合戦略・アクションプランの計画期間] 2015 年度 ~ 2020 年度

# II. ひめじ創生戦略 アクションプラン 令和 2 年度改定版

## 1. アクションプラン策定の目的・位置づけ

ひめじ創生戦略では、2060 年というさらに長期的な展望から人口減少の緩和と地域の活性化に取り組むこととしており、具体的な行動計画である [アクションプラン] において、人口問題に重点化した 17 の新規事業との 46 の拡充事業を含む 205 の事業を掲げる (再掲を除く)。事業と数値目標については、毎年度の PDCA サイクルによる進行管理の中で、取組み内容と数値目標の達成状況等をチェックし、バージョンアップしながら戦略を着実に推進する。

ひめじ創生戦略のイメージ図



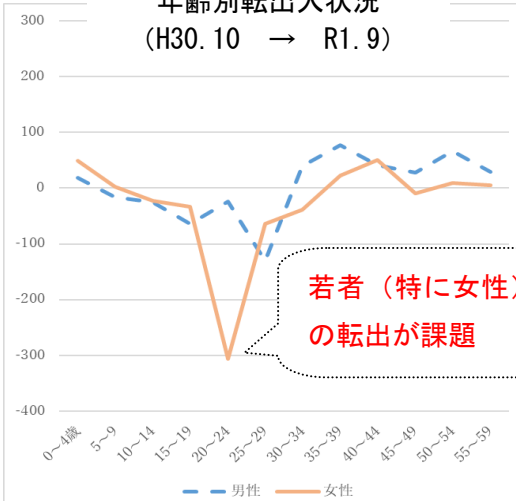
## 2. ひめじ創生に向けた事業展開の考え方

- これまでの振り返り（平成 27 年度～平成 31 年度）
  - ・ 1～2 年目は社会増に向けた対策（地域経済の活性化が好循環のスタート）
  - ・ 3 年目は自然増に向けた対策（子育て・女性活躍に重点）
  - ・ 4～5 年目は若者の定着に向けた対策（若者に重点）
- 雇用・社会増減は改善傾向にあるが、東京を中心とする  
**大都市圏への転出超過に歯止めが掛かっていない**

### 重要業績評価指標の状況 (H26 → 最新)

- 有効求人倍率  
1.29 → **1.84**
- △総入込客※数  
914 万人 → **914 万人**
- △合計特殊出生率(登録人口ベース)  
1.55 → **1.55**
- ×出生数(住基ベース)  
4,724 人 → **4,087 人**
- 本市全体の社会増減  
△512 人 → **+324 人**
- ×東京圏・大阪府への転出超過数  
△560 人 → **△758 人**

### 年齢別転出入状況 (H30.10 → R1.9)



若者（特に女性）  
の転出が課題

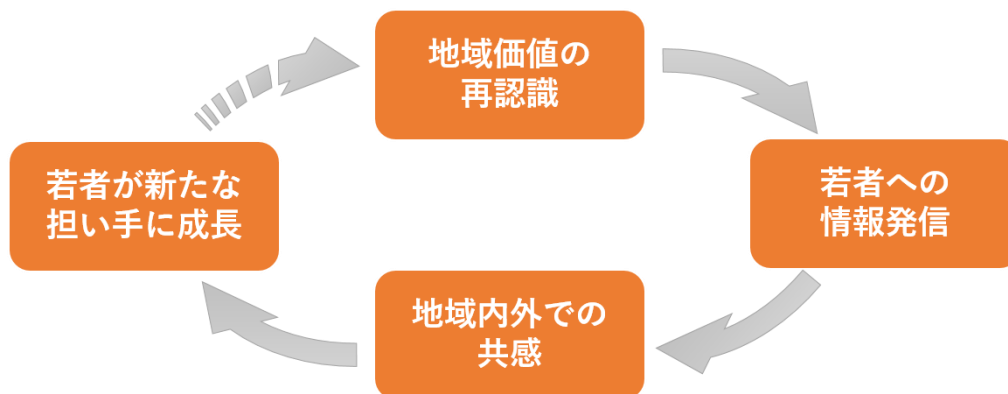
### ○課題

- ・ **若者（特に女性）に地域の魅力が十分伝わっていない**

### ○方針

## 質の高い暮らしができる**播磨**の魅力を**若者**に発信

多様な担い手が播磨の地域資源を磨き、価値を再認識し、情報を発信する  
これに共感した受け手が新たな担い手となり、さらに価値を生み出していく



ひめじ創生戦略[人口ビジョン]と[アクションプラン 2020 年度改定版]の全体像

人口ビジョン

中長期展望（2060 年を視野）

定住人口約 47 万人を維持

（合計特殊出生率 2.20 東京圏・大阪府への転出超過数 0 人/年）

基本目標

ひめじ創生戦略の目標（2021 年を視野）

- |                                      |                         |
|--------------------------------------|-------------------------|
| 1. 地域経済を活性化し、 <b>安定した雇用</b> を創生      | } [しごと]<br>[ひと]<br>[まち] |
| 2. <b>学び、働き、暮らし</b> 、交流する新しいひとの流れを創生 |                         |
| 3. 生涯を通じていきいきと <b>活躍</b> できる社会を創生    |                         |
| 4. <b>出産、子育て</b> にやさしい社会を創生          |                         |
| 5. 播磨の中枢都市として <b>魅力ある都市・圏域</b> を創生   |                         |

主な施策・事業

つたえる

★「地域価値」の再認識と発信

- ・播磨圏域情報発信事業
- ・わかものネットワークの構築
- ・地域夢プラン事業の推進

しごと

★「稼ぐ力」が向上するしごとづくり

- ・創業者への支援
- ・海外展開への支援
- ・スマート農業の推進
- ・ハーブの里山プロジェクト
- ・林田チャレンジ農園の運営
- ・播磨産の農林水産物の 6 次産業化等の支援

ひと

★「地域価値」を高める担い手づくり

- ・奨学金返還支援制度
- ・UJI ターン就職の促進
- ・カリキュラム・マネジメント※の推進
- ・地域再生協働員（県版地域おこし協力隊）の配置
- ・地域おこし協力隊の活用
- ・介護職員 UJI ターン支援事業

まち

★社会情勢の変化に対応し「地域価値」を生み出すまちづくり

- |                                     |                              |
|-------------------------------------|------------------------------|
| ・姫路コンベンションビューローの機能強化及び DMO 化に向けた取組み | ・SDGs 等に係る播磨圏域企業動向調査         |
| ・まちなか遊休不動産※等の活用促進                   | ・AI 等の最先端技術を活用した市民サービス効率化の推進 |
| ・新たな社会課題解決のプロジェクトの推進                | ・マイナンバー制度を活用した窓口サービスの向上      |

つながる

★産官学金労言・連携市町との連携による取組みの加速化

- ・播磨圏域連携中枢都市圏※ビジョンの推進
- ・民間企業との連携協定を活用した具体的事業の推進

### 3. 成果指標・重要業績評価指標(KPI)

総合戦略において掲げた5つの基本目標及び19の施策について、施策ごとに具体的な事業を設定し取り組んでいく。事業の実施にあたっては、昨年度まで、基本目標ごとに成果指標(計13指標)を、施策ごとに重要業績評価指標(KPI)(計28指標)を設定していたが、計画期間延長に伴い、数値目標を目標年次の延長など下記のとおり修正する。

成果指標	: 受益者(市民等)からとらえた具体的な効果や効用を基準とする指標
重要業績評価指標(KPI)	: 目標の達成度合いを計る定量的な指標 成果指標又は行政活動そのものの結果に係る指標

◎各成果指標、KPIにおける数値は、特に記載がない場合は令和2年(度)又は令和3年3月末時点の数値、カッコ内の数値は、平成26年(度)又は平成27年3月末の数値

基本目標1】地域経済を活性化し、安定した雇用を創生	【基本目標1の成果指標】	
	■製造品出荷額等の全国シェア、県内シェア : 全国シェア:0.79%、県内シェア:16.06% ※現行のまま (H22~26年平均値:全国シェア:0.72%、県内シェア:14.70%)	
	■従業者数(製造業) : 46,050人(H26年:46,050人)	
	■工場立地件数(工場立地促進制度の適用件数) : H30~R2年度平均値で35件(H24~26年度平均値:27件)	
	施策	重要業績評価指標(KPI)
①ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化	□創業者に対する支援数 : H28~R2年度累計600人(H26:73人)	
②企業の立地の促進による雇用の安定	□工場用地ライブラリー制度の登録件数 : 10件(8件)	
③職業教育と就業機会の充実	□市立3校の就業体験の生徒数 : 100人(82人)	
④地域の特色を活かした農林水産業等の振興	□「豊穡の国・はりま」ブランドの認証団体数 : 65団体(未実施)	
基本目標2】学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生	【基本目標2の成果指標】	
	■東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)・大阪府への転出超過数 : 0人(560人)	
	■総入込客※数 : 1,000万人(914万8千人)	
	施策	重要業績評価指標(KPI)
	⑤都市イメージの向上	□姫路観光コンベンションビューロー「ひめのみち」ページビュー数 : 800万件(658万8千件) □ジュニア姫路検定の参加者数 : 2,100人(1,912人)
	⑥MICE※の推進	□コンベンション※等の開催支援数 : 90件(71件) ※現行のまま
⑦インバウンド※を踏まえた観光戦略の展開	□観光案内所(姫路観光ナビポート)での外国人観光客対応者数 : 28,000人(10,872人)	
⑧移住・定住支援の充実	□地域おこし協力隊の受入人数 : H28~R2年度累計8人(未実施)	
⑨優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援	□女性を対象とした就労支援メニューの参加企業数 : 10社(平成29年度より実施)	

基本目標3【生涯を通していきいきと活躍できる社会を創生】	【基本目標3の成果指標】	
	■高齢者(65～74歳)の有業率※ :H29年に32%(H24年:30.6%)	
	■健康寿命 :H31年度までに1年延伸(H25:男性77.84歳、女性82.45歳)	
	施策	重要業績評価指標(KPI)
⑩社会貢献活動の促進	□生涯現役人材バンクの活用件数 :80件(46件)	
⑪高齢者の就業・起業への支援	□シルバー人材センターの会員数 :3,590人(3,265人)	
⑫健康づくり活動の推進	□ニュースポーツ普及事業助成数 :43校・地区(H24～26年度平均値:33.7校・地区) □介護予防自主活動グループ数 :520グループ(197グループ) □要介護・要支援認定者に占める要介護認定者数の割合 :60.65%(63.2%)	
基本目標4【出産、子育てにやさしい社会を創生】	【基本目標4の成果指標】	
	■合計特殊出生率 :H31登録人口ベースで1.65(H26登録人口ベース:1.55)	
	■女性(30～39歳)の有業率 :H29年に71%(H24年:67.2%)	
	■「ワーク・ライフ・バランス」の認知度 :H28年度に70%(H23年度:46.2%)	
施策	重要業績評価指標(KPI)	
⑬ライフステージに応じた切れ目のない支援	□妊婦本人への面接率 :100%(96.8%) □保育所等利用待機児童数 :0人(H27.4.1:69人) □ファミリーサポートセンターの提供会員及び両方会員数 :850人(718人)	
⑭子ども・子育てを見守る地域活動の維持	□コミュニティ活動イベント助成事業の実施地区数 :全72地区(64地区) □スクールヘルパー※への登録者数 :16,000人(15,887人)	
⑮仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	□ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の回数 :10回(8回)	
基本目標5【播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生】	【基本目標5の成果指標】	
	■播磨圏域連携中枢都市圏※ビジョンに定める連携事業の進捗率 :100%(未実施)	
	■公共交通機関の乗車人員(1年間に公共交通機関に乗車した人員の1日平均):167,502人(156,102人)	
	■中心市街地の居住者数 :10,500人(H22～26年度末平均値8,732人)	
	施策	重要業績評価指標(KPI)
⑯連携中枢都市圏構想による圏域の活性化	□播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率 :100%(未実施)	
⑰地域課題克服による日常生活圏の充実	□空き家バンク※登録物件数 :40件(未実施) □買物支援サービス事業の登録者数 :50人→55人(H27.3.31:22人) □地域活動に対する支援(地域防災訓練)件数 :700件(503件)	
⑱高次都市機能※の集積等による中心市街地活性化の強化・推進	□中心市街地商店街の空き店舗減少数 :9店舗減少(37店舗)	
⑲行政マネジメントの強化	□地方創生に係る意見聴取者数 :H28～31年度累計400人(未実施) □行政情報分析基盤を活用する組織数 :H29～31年度累計9部署(未実施)	

#### 4. 課題に対応する新規・拡充事業

ひめじ創生戦略の目的である活力ある「ふるさと・ひめじ」を維持するため、将来的に人口減少に歯止めをかける「積極戦略」に取り組むとともに、直面する人口減少の課題に対応し、活力を維持するための「調整戦略」に重点的に取り組む。そのため、現在における課題を明確にし、その対策を再検討した結果、令和2年度に新規17事業及び拡充46事業を実施する。

##### 【積極戦略・社会増対策】

	課題	対策	施策(基本目標)	事業名(◎は新規、○は拡充)
1	若者の地元就職の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が活躍できる場をつくる</li> <li>・地元企業への意識づくり</li> </ul>	③職業教育と就業機会の充実 (1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生) ②企業の立地の促進による雇用の安定 (1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生)	◎奨学金返還支援制度 ○アンケート等による企業立地動向等の調査とそれに対応した企業訪問の強化
2	大都市への転出超過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大都市と比較して悪いイメージを払拭</li> <li>・郷土意識の醸成</li> <li>・UJIターンの支援</li> </ul>	⑤都市イメージの向上 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生) ⑧移住・定住支援の充実 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生)	◎播磨圏域情報発信事業 ◎姫路コンベンションビューローの機能強化及びDMO化に向けた取組み ◎第74回全国レクリエーション大会2020ひょうごの開催 ○地域夢プラン事業の推進 ○ふるさと納税制度の充実 ○シティプロモーション等の推進 ○東京オリンピック・パラリンピック姫路プロジェクトの推進 ◎わかものネットワークの構築 ◎家島諸島交流人口拡大促進事業の実施 ◎介護職員UJIターン支援事業 ◎地域再生協働員(県版地域おこし協力隊)の配置 ○第二新卒をターゲットとした転出超過ゼロ作戦 ○地域おこし協力隊の活用 ○UJIターン就職の促進

##### 【積極戦略・自然増対策】

	課題	対策	施策(基本目標)	事業名(◎は新規、○は拡充)
3	子育てに対する不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代に対する包括的なケア</li> <li>・子育て施設等の充実</li> <li>・女性が働きやすい環境づくり</li> </ul>	⑬ライフステージに応じた切れ目のない支援 (4 出産、子育てにやさしい社会を創生) ⑮仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 (4 出産、子育てにやさしい社会を創生)	○教育・保育の提供体制の計画的な確保 ○保育士確保対策の推進 ○放課後児童健全育成事業の充実 ○地域子育て支援拠点事業の充実 ○緊急時等における子育て支援の充実 ○妊娠・出産包括支援の充実



【調整戦略】

	課題	対策	施策(基本目標)	事業名(◎は新規、○は拡充)
4	地域経済の縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり企業の技術力と生産性の向上</li> <li>地域企業の海外展開を支援</li> <li>創業者への支援</li> <li>播磨圏域の機能の維持・向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化 (1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生)</li> <li>④地域の特色を活かした農林水産業等の振興 (1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生)</li> <li>⑯連携中枢都市圏※構想による圏域の活性化 (5 播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生)</li> <li>⑱高次都市機能※の集積等による中心市街地活性化の強化・推進 (5 播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創業者への支援</li> <li>○海外展開への支援</li> <li>◎スマート農業の推進</li> <li>◎地産地消ブランド推進店舗「旬彩蔵書写」の整備</li> <li>○「播磨は日本酒のふるさと」事業の推進</li> <li>○ハーブの里山プロジェクト</li> <li>○林田チャレンジ農園の運営</li> <li>○農山村地域活性化の取組み</li> <li>○播磨産の農林水産物の6次産業化等の支援</li> <li>○播磨地域ブランドの推進</li> <li>◎日本城郭研究センターの整備</li> <li>○手柄山中央公園再整備の推進</li> <li>○中心市街地商店街空き店舗対策事業</li> <li>○まちなか遊休不動産※等の活用促進</li> <li>○回遊性を高める大手前通りの再整備</li> <li>○中心市街地における駐輪対策の推進</li> </ul>
5	社会保障等の財政需要の増大、税収の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの推進</li> <li>扶助費の抑制</li> <li>効率的な行政運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑫健康づくり活動の推進 (3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生)</li> <li>⑲行政マネジメントの強化 (5 播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新たな社会課題解決のプロジェクトの推進</li> <li>◎SDGs 等に係る播磨圏域企業動向調査</li> <li>○地方創生に関する市民対話の充実</li> <li>○民間企業との連携協定を活用した具体的事業の推進</li> <li>○働き方改革の推進</li> <li>○行政情報分析基盤による業務改革の推進</li> <li>○AI等の最先端技術を活用した業務効率化の推進</li> <li>○公共施設等総合管理計画の推進</li> </ul>
6	地域コミュニティの弱体化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域課題解決の担い手育成</li> <li>地域課題を克服</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑩社会貢献活動の促進 (3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生)</li> <li>⑭子ども・子育てを見守る地域活動の維持 (4 出産、子育てにやさしい社会を創生)</li> <li>⑰地域課題克服による日常生活圏の充実 (5 播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎道の駅等の周辺地域を活性化する拠点施設の整備</li> <li>◎医療情報連携システムの導入検討</li> <li>○地域活動に対する支援</li> <li>○ハザードマップ等を活用した災害危険情報の周知</li> <li>○AI等の最先端技術を活用した市民サービス効率化の推進</li> <li>○マイナンバー制度を活用した窓口サービスの向上</li> <li>○路上喫煙禁止に向けた取組みの推進</li> <li>○消防防災拠点施設等の強化</li> <li>○救急体制の充実強化</li> <li>○家島群島からの救急搬送体制の確保</li> </ul>
7	交流人口対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>姫路城等を活かした観光戦略</li> <li>外国人観光客の受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑥MICE※の推進 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生)</li> <li>⑦インバウンド※を踏まえた観光戦略の展開 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内外からのコンベンションの誘致</li> <li>○姫路市文化コンベンションセンターの整備・活用</li> <li>◎食の多様性への対応の推進</li> <li>○姫路城周辺の保全・環境整備とナイト観光の推進</li> <li>○外国人観光客の受入体制の充実</li> <li>○多様な観光の推進</li> </ul>
8	労働人口の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材の確保</li> <li>女性・高齢者の活躍支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援 (2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生)</li> <li>⑪高齢者の就業・起業への支援 (3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎カリキュラム・マネジメント※の推進</li> </ul>

## 5. 個別の事業・事業内容・成果指標・重要業績評価指標 (KPI)

基本目標 1：地域経済を活性化し、安定した雇用を創生						
<b>【成果指標】</b>						
製造品出荷額等の全国シェア (H22～26年平均値→H28～R2 平均値) (出典：工業統計 H27 のみ経済センサス)						
H22～26	H23～27	H24～28	H25～29(確報)	H26～30	H27～R1	H28～R2(目標)
0.72%	0.74%	0.74%	0.75%	—	—	0.79%
製造品出荷額等の県内シェア (H22～26年平均値→H28～R2 平均値) (出典：工業統計 H27 のみ経済センサス)						
H22～26	H23～27	H24～28	H25～29(確報)	H26～30	H27～R1	H28～R2(目標)
14.70%	15.06%	15.12%	15.29%	—	—	16.06%
従業者数 (製造業) (H26 年→R2 年) (出典：工業統計 H28 のみ経済センサス)						
H26	H27	H28	H29	H30(確報)	R1	R2(目標)
46,050 人	46,540 人	44,640 人	46,842 人	48,075 人	—	46,050 人
工場立地件数 (工場立地促進制度の適用件数) (H24～26 年度平均値 → H30～R2 年度平均値)						
H24～26	H25～27	H26～28	H27～29	H28～30	H29～R1	H30～R2(目標)
27 件	30 件	35.3 件	36 件	40 件	—	35 件
<b>施策①：ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化</b>						
<b>【重要業績評価指標(KPI)】</b>						
創業者に対する支援数 (H27 年度～R2 年度累計)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	H28～R2 累計(目標)
73 人	106 人	121 人	161 人	139 人	—	600 人
<b>事業・事業内容</b>						
㊦創業者への支援 (産業振興課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶起業プラザひょうご姫路の運営支援</li> <li>▶制度融資等利用者の信用保証料一部助成の充実</li> <li>▶学生を対象とした創業セミナー等の実施</li> <li>▶姫路市創業支援事業計画に基づく創業・第二創業支援の充実</li> <li>▶中心市街地活性化基本計画区域内並びに中心市街地以外の商店街での創業に対する事業資金の支援</li> <li>▶特定創業支援事業対象者が販路拡大のために行う自社広告に対する支援</li> </ul>				※ <u>二重下線</u> は㊦(新規事業)、 <u>下線</u> は㊧(拡充事業)で拡充する内容		
㊧海外展開への支援 (産業振興課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶海外で開催される商談会への参加</li> <li>▶ジェトロ神戸と連携し海外展開を目指す企業のための相談窓口を市内に設置</li> <li>▶国外の大規模な展示会等の出展に対する支援</li> </ul>						
・地域資源を活用した事業への支援 (農政総務課、水産漁港課、産業振興課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶中山間地域における花果樹の植栽などへの支援</li> <li>▶地元産水産物の PR、取引希望企業と地元生産者とのマッチング等</li> <li>▶地域産業資源を活用した事業に対する支援</li> <li>▶「姫路和牛」を PR し畜産業の活性化を図る</li> </ul>						
・ものづくりにおけるデザイン活用・ブランディング支援 (産業振興課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ものづくりにおけるデザイン活用やブランディングを支援</li> <li>▶地場産業が生き残るための手法としてブランディングを学ぶセミナーを開催</li> </ul>						

- ものづくり企業等の IT 化の推進（産業振興課）
  - ▶RPA※導入支援セミナーの開催
  - ▶市内の中小ものづくり企業の IT 化を支援
- 産学連携の推進と市内企業の内発的発展の促進（産業振興課）
  - ▶金属新素材研究センターの周知及び活用促進
  - ▶大学の共同研究施設における産学共同研究に要する経費を支援
  - ▶県立大の産学連携推進事業に係る経費を支援
  - ▶ラボツアー（大学研究室ツアー）の開催
  - ▶ものづくり力向上セミナーの開催
  - ▶企業・大学・学生マッチング in Himeji の開催
- 事業継承のための支援（産業振興課）
  - ▶事業継承のためのセミナーの開催
- 成長分野への参入支援（産業振興課）
  - ▶放射光施設又はスーパーコンピュータ等を利用して製品技術開発する市内企業を支援
  - ▶放射光施設の産業利用を促進するための分析実習を実施
- 新製品等の市場開拓支援（産業振興課）
  - ▶国内の大規模な展示会等の出展に対する支援
  - ▶商談会、見本市等の開催又は出展に対する支援
  - ▶全国規模の展示会への合同出展
  - ▶FM ゲンキにて姫路のものづくり企業や新規開業者などの情報発信
- 新製品・新技術開発への支援（産業振興課）
  - ▶開発された新製品等のうち、特に優れたものの開発費の一部助成
- 産官学の協働と交流の促進（産業振興課）
  - ▶はりま産学交流会などの産学交流団体の活動を支援
- 姫路ものづくり支援センターの機能充実と活用促進（産業振興課）
  - ▶ものづくりに関する技術的な相談への対応
  - ▶産学連携の支援や産産(異業種間)のビジネスマッチングへの支援
- (公財) 姫路・西はりま地場産業センターの事業推進（産業振興課）
  - ▶姫路の地場産業を広く PR するためのバスツアーで工場見学や製作体験を実施
  - ▶(公財) 姫路・西はりま地場産業センターが行う地場産業産地振興事業に対する支援
- 地場産業の高付加価値化の推進（皮革等）（産業振興課）
  - ▶皮革二次製品のクリエイター育成に対する支援

**施策②：企業の立地の促進による雇用の安定**

**【重要業績評価指標(KPI)】**

工場用地ライブラリー制度の登録件数 (H26年度→R2年度)

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
8件	12件	7件	12件	1件	—	10件

**事業・事業内容**

- ㊦ アンケート等による企業立地動向等の調査とそれに対応した企業訪問の強化(企業立地推進課)
  - ▶ オフィス立地に関する投資意向についてのアンケート及び企業誘致活動
  - ▶ 広域連携による企業の投資動向についてのアンケート及び企業誘致活動
- ・ 企業の本社機能の誘致等に向けた取組みの推進 (企業立地推進課)
  - ▶ 若者の雇用創出に繋がるオフィス系企業の立地促進の強化
  - ▶ 市内にある主力製造拠点 (本社機能及び研究所を備えた工場) の定着と主力製造拠点への拡充に対する支援
- ・ 地区計画制度等による内陸部への工場等の立地誘導 (企業立地推進課)
  - ▶ 誘致中の6次産業化企業に対する継続的な誘致交渉
- ・ 地域未来投資促進法に基づく基本計画の推進 (企業立地推進課)
  - ▶ 地域特性を活用し高い付加価値を創出する地域経済牽引事業の促進
- ・ 大規模民有地 (遊休地) の活用 (企業立地推進課)
  - ▶ 地権者との連携による大規模民有地 (遊休地) への企業立地の誘導
- ・ 工場立地促進制度 (奨励措置・低利融資) の充実 (企業立地推進課)
  - ▶ 既存企業の設備投資の促進及び市外流出防止に係る支援
- ・ 工場用地ライブラリー制度の充実 (企業立地推進課)
  - ▶ 工場用地を求めている者と工場用地を売却したい者とのマッチング
- ・ 金融機関との連携による企業立地の推進 (企業情報の収集等) (企業立地推進課)
  - ▶ 政府系金融機関との連携による企業情報の収集等の推進
- ・ 行政手続のワンストップ化の推進 (企業立地推進課)
  - ▶ 立地企業のワンストップ窓口となり、行政手続をスピードアップ化
- ・ 企業立地に関する効果的な情報発信 (企業立地推進課)
  - ▶ 企業立地ガイド等を活用した情報発信

**施策③：職業教育と就業機会の充実**

**【重要業績評価指標(KPI)】**

市立3校の就業体験の生徒数 (H26年度→R2年度)

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
82人	87人	146人	149人	57人	—	100人

**事業・事業内容**

- ㊦ 奨学金返還支援制度 (企画政策推進室)
  - ▶ 市内に定住し、播磨圏域連携中枢都市圏※域内に就職する場合に奨学金の返済を支援
- ・ 集落営農への支援 (農政総務課)
  - ▶ 集落営農組織の設立及び法人化に向けた支援
  - ▶ 生産管理施設機械等の整備に係る支援

- ・新規就農者の相談・支援（農政総務課）
  - ▶就農前の研修段階及び経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対する支援
  - ▶農業用機械等の整備に係る支援
- ・認定農業者の育成・確保（農政総務課）
  - ▶姫路市地域担い手育成総合支援協議会が実施する事業への支援
  - ▶耕作条件の悪い農地を借り受けた農業者への支援
- ・中小企業人材養成事業（産業振興課、労働政策課）
  - ▶中小企業者等への人材育成等に対する支援
  - ▶次代を担う優秀な人材づくりのため、中小企業者を対象に人材養成講座等を実施
- ・中小企業の人材確保のための奨学金返済負担軽減制度の利用促進（労働政策課）
  - ▶日本学生支援機構の奨学金を返済している若年労働者を支援する中小企業への助成
- ・兵庫県立ものづくり大学校の活用促進（労働政策課）
  - ▶ものづくり大学校が実施する職業訓練や匠の後継者育成等の人材養成事業に対する支援
- ・事業内職業訓練助成事業（労働政策課）
  - ▶中小企業者等が認定された職業訓練に対する支援
- ・民間企業等と連携した就業教育（学校指導課）
  - ▶民間企業による小中高生に対する講座の開催
- ・高校生を対象としたインターンシップの促進（学校指導課）
  - ▶高校生を対象としたインターンシップのマッチング
- ・トライやる・ウィークの実施（学校指導課）
  - ▶体験学習や就業体験を通して、生徒のキャリア形成を支援

#### 施策④：特色を活かした農林水産業等の振興

##### 【重要業績評価指標(KPI)】

「豊穡の国・はりま」ブランドの認証団体数（H27年度→R2年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
—	46 団体	55 団体	61 団体	66 団体	—	65 団体

##### 事業・事業内容

- ㊦ スマート農業の推進（農政総務課）
  - ▶スマート農業加速化実証プロジェクト
  - ▶遠隔操作等スマート農業による栽培
- ㊦ 地産地消ブランド推進店舗「旬彩蔵書写」の整備（農政総務課）
  - ▶「姫そだち」「こだわり姫そだち」の専用店舗の整備に対する支援
- ㊦ 「播磨は日本酒のふるさと」事業の推進（地方創生推進室）
  - ▶大都市圏や海外への販路拡大
  - ▶地理的表示「播磨」取得後の PR
- ㊦ ハーブの里山プロジェクト（農政総務課）
  - ▶ハーバルヘルスツーリズムによる市民、観光客等の健康増進
  - ▶健康効果検証プラットフォームの構築

- ㊤ 林田チャレンジ農園の運営（農政総務課）
  - ▶ ▶ 若手農業者を確保育成するための育成支援型農園の運営
- ㊤ 農山村地域活性化の取組み（農政総務課）
  - ▶ ▶ 集落カルテの作成
  - ▶ ▶ 東部農山村地域活性化ラボ
  - ▶ ▶ 集落農地のマッチング
- ㊤ 播磨産の農林水産物の6次産業化等の支援（農政総務課・水産漁港課・産業振興課）
  - ▶ ▶ 栽培面積の拡大支援
  - ▶ ▶ 冷凍野菜工場用地探索支援
  - ▶ 農水産資源を活用した加工品の開発や製造についてのマッチング支援
  - ▶ 地元漁業者等への6次産業化支援
- ㊤ 播磨地域ブランドの推進（産業振興課）
  - ▶ ▶ 醸す造る播磨×食育事業（醸造文化を学ぶ絵本作成）
  - ▶ 「醸造」をキーワードにした播磨地域のブランド化の推進
  - ▶ 播磨の醸造文化の情報アーカイブ化
  - ▶ 醸造をテーマとした食科学セミナーの開催
  - ▶ 醸造フードイベントの開催
  - ▶ 広報プロモーション活動
- ・ 姫路市飲食店認証制度（保健所衛生課）
  - ▶ 食の安全安心、健康増進、地産地消を高い水準で満たしている飲食店を認証
- ・ 官学連携による地域資源を活用したブランド化に向けた研究（北部農林事務所）
  - ▶ 近畿大学等と連携した資源活用先駆的モデル事業
- ・ 作物的獣害対策事業（北部農林事務所）
  - ▶ 獣が忌み嫌う作物の効果検証とブランド化等を推進
- ・ 姫路木綿復活プロジェクトへの支援（北部農林事務所）
  - ▶ 姫路木綿によるブランド品開発、試験栽培、栽培技術の確立等への支援
- ・ 森林資源を活かした地域の活性化（農林整備課）
  - ▶ 安富町での森林・林業イベントの開催
- ・ 観光漁業の推進（水産漁港課）
  - ▶ 市内小学校対象に、漁業体験を実施
  - ▶ 漁業や漁場の見学、漁獲物の学習、試食等を実施するプログラムを支援
- ・ 産官学協働マアナゴ栽培漁業研究開発事業（水産漁港課）
  - ▶ 近畿大学水産研究所と漁業協同組合と協働でマアナゴの資源化に向けた技術研究開発
- ・ 中央卸売市場の施設整備（中央卸売市場）
  - ▶ 中央卸売市場の施設再整備事業の推進

## 基本目標 2：学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生

### 【成果指標】

東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）・大阪府への転出超過数（H26年→R2年）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
560人	825人	1,064人	930人	758人	—	0人

総入込客※数（H26年度→R2年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
9,148千人	11,902千人	10,266千人	9,873千人	9,149千人	—	10,000千人

### 施策⑤：都市イメージの向上

#### 【重要業績評価指標(KPI)】

姫路観光コンベンションビューロー「ひめのみち」ページビュー数（H26年度→H31年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
6,588千件	9,073千件	4,662千件	4,824千件	5,162千件	—	8,000千件

ジュニア姫路検定の参加者数（H26年度→R1年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R1（目標）
1,912人	1,894人	1,561人	1,699人	2,297人	—	2,100人

### 事業・事業内容

#### ㊦ 播磨圏域情報発信事業（地方創生推進室）

- ▶各種メディアを通じて播磨圏域の取組みを住民や企業に情報発信
- ▶兵庫わくわく館を活用した情報発信

#### ㊦ 姫路コンベンションビューローの機能強化及びDMO化に向けた取組み（観光企画課）

- ▶MICEステークホルダーとの連携による誘致への取組みの検討
- ▶DMO化に向けたマーケティング部門の強化

#### ㊦ 第74回全国レクリエーション大会2020ひょうごの開催（スポーツ推進室）

- ▶レクリエーションの振興を図る取組みとして大会を開催

#### ㊦ 地域夢プラン事業の推進（企画政策推進室、市民活動推進課）

- ▶公式インスタグラムを活用したフォトコンテストを実施
- ▶地区ごとに地域資源をまとめたマップを新小学3年生に配布
- ▶提案型協働事業補助金に地域資源の活用のテーマを設定

#### ㊦ ふるさと納税制度の充実（主税課）

- ▶「ふるさと納税」のPR及び適正な制度運用

#### ㊦ シティプロモーション等の推進（観光企画課）

- ▶東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西などを契機とした都市魅力の発信
- ▶観光キャンペーンや旅行エージェント等へのPR等により姫路の観光情報を国内外へ発信

#### ㊦ 東京オリンピック・パラリンピック姫路プロジェクトの推進（スポーツ推進室）

- ▶東京2020オリンピック聖火リレーの実施
- ▶東京2020パラリンピック聖火フェスティバルの実施
- ▶パブリックビューイング（コミュニティライブサイト）の実施
- ▶フランス柔道選手団の事前合宿の実施
- ▶オリパラ首長連合等、関係会議、プロモーションへの参加

- ・日本遺産（Japan Heritage）の情報発信・活用（地方創生推進室・観光振興課・文化財課）
  - ▶日本遺産「銀の馬車道 鉱石の道」、「北前船寄港地・船主集落」及び「西国三十三所観音巡礼」を活用した事業の実施
- ・平和ツーリズムの推進（地方創生推進室）
  - ▶加西市、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市と連携し、平和都市ブランドを通じた PR 事業の展開
- ・地域貢献納税感謝状の贈呈（主税課）
  - ▶市税の納付において特に貢献が顕著であった者に対する感謝状の贈呈
- ・姫路市オリジナル婚姻届の協働発行（住民窓口センター）
  - ▶オリジナル婚姻届及び「婚姻届の書き方」を記載した冊子の作成
- ・全国大会等の開催支援（スポーツ推進室）
  - ▶世界遺産姫路城マラソンの継続開催
  - ▶大規模大会誘致
- ・姫路の歴史文化等に愛着を持つ郷土教育（学校指導課、生涯学習課）
  - ▶市内小中学校にふるさと姫路を学ぶ学習資料を配布
  - ▶公民館において、地域課題の解決や、文学歴史自然などの学習機会を提供
- ・郷土資料デジタルアーカイブ事業（城内図書館）
  - ▶郷土資料デジタルアーカイブシステム（はりまふるさとアーカイブ）の運営

## 施策⑥：MICE※の推進

### 【重要業績評価指標(KPI)】

コンベンション※等の開催支援数（H26年度→R2年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
71件	69件	79件	69件	83件	—	90件

### 事業・事業内容

- ㊦ 国内外からのコンベンションの誘致（観光企画課）
  - ▶MICE ブランドロゴマーク等の作成
  - ▶ユニークベニューの充実
  - ▶姫路市におけるコンベンションの誘致、開催支援
  - ▶コンベンションの開催に対する助成
- ㊦ 姫路市文化コンベンションセンターの整備・活用（観光企画課、文化国際課、文化コンベンション施設整備室）
  - ▶開館記念事業（オープニングシリーズ）の構築
  - ▶展示会・商談会での PR 活動
  - ▶プロモーションツールの制作
  - ▶文化コンベンションセンターの PR や開館イベントの準備



施策⑦：インバウンド※を踏まえた観光戦略の展開

【重要業績評価指標(KPI)】

観光案内所（姫路観光なびポート）での外国人観光客対応者数（H26年度→R2年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
10,872人	26,370人	23,868人	28,489人	27,591人	—	28,000人

事業・事業内容

㊦ 食の多様性への対応の推進（地方創生推進室）

- ▶飲食店、宿泊施設等における食の多様性へ対応するため、セミナーや個別指導等の実施

㊧ 姫路城周辺の保全・環境整備とナイト観光の推進（環境政策室、姫路城管理事務所）

- ▶ 大天守ライトアップの整備
- ▶環境ヒーローによる環境啓発活動の実施(再掲)
- ▶姫路城石垣の除草作業

㊨ 外国人観光客の受入体制の充実（観光企画課、観光振興課）

- ▶ 姫路城等で忍者を活用したツアーの開催
- ▶兵庫県、神戸市との連携によるオンライン旅行社を活用した誘客プロモーション
- ▶外国人観光客に向けた受入体制の整備及びPR業務を実施
- ▶姫路市観光案内所における英語対応スタッフの配備
- ▶多言語パンフレットの配置
- ▶Wi-Fi サービスの実施
- ▶外国語対応観光ガイドボランティアへの支援を実施

㊩ 多様な観光の推進（観光企画課、観光振興課、姫路城管理事務所）

- ▶ グループツアー・アーリーバード支援事業（早朝入城など受入環境整備）
- ▶ JR等と連携した広域プロモーションの実施
- ▶「書写山もみじまつり」において夜間ライトアップを実施
- ▶姫路城の夜間活用
- ▶夜桜会の開催
- ▶姉妹都市（松本市鳥取市）との相互交流相互出展
- ▶西播磨観光協議会、歴史街道推進協議会等の広域観光団体との連携

・夢前川河川空間の活用（地方創生推進室）

- ▶水辺空間を活用して、新たな賑わいの創出や魅力ある地域の活性化を推進

・はりまサイクルツーリズム「bGo」の推進（地方創生推進室）

- ▶サイクリングマップの作成、配布

・HOT連携の推進（地方創生推進室、観光振興課）

- ▶姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会（HOT）を通じた交流の推進
- ▶各市イベントへの相互参加

・文化観光の推進（観光企画課、観光振興課、姫路城管理事務所）

- ▶姫路藩和船を活用して姫路城内堀において文化観光学習船を運航
- ▶和船のろこぎ体験会を実施
- ▶姫路城ナイトイベントの開催
- ▶生きた歴史体感プログラム（リビングヒストリー）の実施

- ▶文化観光学習船（和船）のPR
- ▶姫路城薪能開催支援
- ・「姫路城プラスワン」作戦の展開（観光企画課）
  - ▶姫路、播磨の魅力あふれる観光資源の開発、PR
  - ▶国内外の誘客プロモーションへの参加
- ・観光情報の発信（観光企画課、観光振興課）
  - ▶ポスター、パンフレット、ウェブサイト等の情報充実
  - ▶外国人観光客の誘致及び観光客受入支援
  - ▶外国語媒体（新聞雑誌等）へのPR情報掲載
  - ▶外国語パンフレット等の作成
- ・姫路城周辺イベントの開催（観光振興課）
  - ▶姫路お城まつりの開催
  - ▶姫路城観桜会観月会の開催
- ・観光に関する人材育成（観光振興課）
  - ▶観光ボランティアへの支援、研修会の実施などを展開
- ・鷹を活用した魅力発信（動物園）
  - ▶鷹に関連するイベント等の実施
- ・クルーズ船入港等による姫路港の活性化（産業振興課）
  - ▶クルーズ船歓送迎行事の実施
  - ▶クルーズ船誘致のためのポートセールスの実施

**施策⑧：移住・定住支援の充実**

**【重要業績評価指標(KPI)】**

地域おこし協力隊の受入人数（H28年度～R2年度累計）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	H28～R2 累計(目標)
—	—	1人	2人	3人	—	8人

**事業・事業内容**

- ⑧ わかものネットワークの構築（地方創生推進室）
  - ▶ひめじ創生に取り組む高校生等が連携し支援できる体制の構築
  - ▶ワールドカフェ方式を活用したタウンミーティング「ひめじ創生カフェ」の実施(本掲)
  - ▶高校を訪問し姫路市の魅力を発信する「ひめじ創生高校生キャラバン」の実施
- ⑧ 家島諸島交流人口拡大促進事業の実施（地方創生推進室）
  - ▶家島諸島の魅力を体験できる日帰りツアーを実施
- ⑧ 介護職員 UJI ターン支援事業（介護保険課）
  - ▶本市へ転入し本市の介護事業所に就職した正規職の介護職員に対して転入費用を助成
- ⑧ 地域再生協働員（県版地域おこし協力隊）の配置（北部農林事務所）
  - ▶北部地域の活性化のため活動を行う隊員を新たに設置
- ⑧ 第二新卒をターゲットとした転出超過ゼロ作戦（地方創生推進室）
  - ▶移住・定住公式 SNS の開設
  - ▶首都圏等における移住定住イベントへの出展
  - ▶LINE による本市の情報発信

㊦ 地域おこし協力隊の活用（地方創生推進室）

▶ 地域おこし協力隊の起業に対する支援

▶ 都心部からの移住者が地域協力活動を行うことにより定住を促進

㊦ UJI ターン就職の促進（労働政策課）

▶ UJI ターン促進住宅支援モデル事業（県と連携し UJI ターン者に対して民間賃貸住宅家賃等を助成）

▶ 民間求人サイトの合同企業説明会（東京会場）を活用した採用支援事業

▶ 企業情報発信事業（県と連携し企業情報等を集約したホームページの運営）

▶ インターンシップ支援事業（コーディネーター派遣）

▶ 中小企業者向け講座の開催（インターンシップ導入講座など）

▶ UJI ターン促進のための首都圏等からの学生・転職者向けツアーの実施

▶ インターンシップマッチング事業

▶ 親のための就活セミナーの開催

・ 東京圏からの移住促進事業（地方創生推進室）

▶ 特定の中小企業等に就職した東京圏からの移住者に移住支援金を支給

・ FMGENKI による播磨圏域の PR（地方創生推進室）

▶ 学生による播磨の魅力紹介

▶ 播磨圏域のイベントリポート

・ 空き家バンク※、リフォームの促進（再掲）（住宅課）

▶ 空き家バンクの情報発信

▶ 空き家の交流施設等としてのリフォームに対する助成

**施策⑨：優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援**

**【重要業績評価指標(KPI)】**

女性を対象とした就労支援メニューの参加企業数（H29年度→R2年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
—	—	—	37社	33社	—	10社

**事業・事業内容**

㊦ カリキュラム・マネジメント※の推進（学校指導課）

▶ 地域の人的・物的資源の効果的な活用

・ 大学研究活動等への支援（企画政策推進室）

▶ 市内4大学の連携促進

▶ 市内又は包括連携協定締結大学への研究活動支援（大学発まちづくり研究等）

・ 男女共同参画等を推進する企業への優遇策の検討（契約課）

▶ 市が行う入札の優遇策等の調査・研究

・ 姫路版「リコチャレ」事業の実施（男女共同参画推進センター）

▶ 理工系分野に興味のある女子生徒が将来をイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援

・ 女性のチャレンジ支援（男女共同参画推進センター）

▶ 女性のためのチャレンジ相談

▶ ひめじ女性チャレンジひろばにおける女性のチャレンジに関する情報の発信

▶ 女性のチャレンジ支援セミナーの開催

- ・ 障害者の一般就労への移行促進（障害福祉課）
  - ▶ 障害者に対する就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援を実施
- ・ 女性を対象とした就労支援（労働政策課）
  - ▶ 在宅ワークや女性が就労を継続しやすい企業への就労を支援
- ・ 姫路しごと支援センターの運営（労働政策課）
  - ▶ 若者から高齢者まで幅広い方が利用できる就職のための総合相談窓口として運営
  - ▶ キャリアカウンセリングや就職相談、就職支援セミナー等を実施
- ・ 合同就職説明会・面接会等の開催支援（労働政策課）
  - ▶ 大学生や第二新卒者等を対象とした合同就職面接会に対する支援
  - ▶ 関係機関と連携し、県外の理系大学生に対するバスツアーを実施
  - ▶ 関係機関と連携し、高校の就職担当者への企業説明会を実施
- ・ ひめじ若者サポートステーションの活動支援（労働政策課）
  - ▶ ニート等の若年無業者に対する相談業務等に対する支援
- ・ 教職員の多忙化解消の推進（教職員課・健康教育課）
  - ▶ 教員の授業補助等を行う「ひめじスクール・サポートスタッフ」の配置
  - ▶ 部活動指導員の配置
- ・ ハイスクールアクションプロジェクト（学校指導課）
  - ▶ 市立高校生が、新たな担い手として播磨の魅力を小中学生等に発信
- ・ 小中一貫教育の推進（学校指導課）
  - ▶ 新制度（義務教育学校・併設型小中学校）の研究と推進
  - ▶ コミュニティ・スクールの推進
  - ▶ 小中一貫教育推進事業の実施
  - ▶ 小中一貫教育つながりカリキュラム作成
- ・ 魅力ある学校図書館づくり（学校指導課）
  - ▶ 児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を推進するため学校司書を配置
- ・ ひめじ e-教育プロジェクト（総合教育センター教育研修課）
  - ▶ 小学校への学習者用端末の拡充整備
  - ▶ 高速大容量通信網（SINET）への接続
  - ▶ ICT 機器の利活用を促進する人的支援の充実

### 基本目標3：生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生

#### 【成果指標】

高齢者（65～74歳）の有業率※（H24年→H29年）

H24	—			H29	—			R2（目標）
30.6%	—	—	32.8%	—	—	—	32%	

健康寿命（H26年→R2年）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
男性	77.84歳	77.99歳	78.76歳	78.49歳	78.33歳	—	78.84歳
女性	82.45歳	82.87歳	83.46歳	83.44歳	83.65歳	—	83.45歳

#### 施策⑩：社会貢献活動の促進

#### 【重要業績評価指標(KPI)】

生涯現役人材バンクの活用件数（H26年度→R2年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
46件	59件	72件	79件	81件	—	80件

#### 事業・事業内容

- ・ 市民活動・ボランティアサポートセンターの充実（市民活動推進課）
  - ▶ ICTを活用した情報発信、市民活動ネットひめじの運営
  - ▶ センター事業の充実とコーディネート機能の強化
  - ▶ 各種媒体を活用した情報発信
- ・ 研修会、講座の開催（市民活動推進課）
  - ▶ 市民活動に関する研修会、講座等の開催
- ・ 地域の新しい担い手づくりの推進（生涯現役推進室）
  - ▶ シニア世代の生きがいづくりや、地域活動への積極的な参画へつなげる講座の開催
- ・ 生涯現役人材バンクの運営（生涯現役推進室）
  - ▶ 知識や経験、技術を持つ高齢者を登録しその能力を求める市民とのマッチング
- ・ 生涯現役推進専門員制度の推進（生涯現役推進室）
  - ▶ 生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員の配置
- ・ 安心して暮らし続けるためのボランティア活動の充実（地域包括支援課）
  - ▶ 地域や介護施設等においてボランティア活動を行う「あんしんサポーター」を養成
  - ▶ 「あんしんサポーター」の活動を支援
  - ▶ 認知症サポーターを養成
  - ▶ 認知症高齢者等を自宅で介護する家族に対し、認知症地域見守り訪問員を派遣
- ・ 食生活改善ボランティアリーダーの養成（保健所健康課）
  - ▶ 姫路いずみ会の育成支援及びリーダー養成講座の開催
- ・ 高齢者向け運動指導者養成講習会の開催（スポーツ推進室）
  - ▶ ニュースポーツ等の講習会を開催し、指導者を育成
- ・ 地域活動指導者の養成（生涯学習大学校）
  - ▶ 高齢者等に対するパソコン指導者養成講座の開催

施策⑪：高齢者の就業・起業への支援						
【重要業績評価指標(KPI)】						
シルバー人材センターの会員数 (H26年度→R2年度)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
3,265人	2,984人	2,832人	2,737人	2,660人	—	3,590人
事業・事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する就労支援 (生涯現役推進室・労働政策課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶高齢者を対象とした合同就職面接会に対する支援</li> <li>▶高齢者を対象とした国・県の雇用助成制度の周知</li> </ul> </li> <li>・シルバー人材センターへの支援 (労働政策課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶シルバー人材センターに対する事業費等の助成</li> </ul> </li> <li>・雇用アドバイザーの活用 (雇用相談・情報提供) (労働政策課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶雇用相談や求人情報の提供、専門家による労働相談</li> </ul> </li> </ul>						
施策⑫：健康づくり活動の推進						
【重要業績評価指標(KPI)】						
ニュースポーツ普及事業助成数 (H24～26年度平均値→H29～R1年度平均値)						
H24～26	H25～27	H26～28	H27～29	H28～30	H29～R1	H30～R1(目標)
33.7校・地区	38.3校・地区	43.0校・地区	43.3校・地区	42.0校・地区	—	43校・地区
介護予防自主活動グループ数 (H26年度末→R2年度末)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
197グループ	289グループ	367グループ	416グループ	451グループ	—	520グループ
要介護・要支援認定者に占める要介護認定者数の割合 (H26年度→R2年度)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
63.2%	62.5%	62.1%	61.6%	60.75%	—	60.65%
事業・事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯現役体操の普及 (生涯現役推進室) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶「生涯現役ガンバルンバ体操」のパンフレットやDVDの配布、健康教室の開催</li> </ul> </li> <li>・地域包括支援センターの充実 (地域包括支援課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶市直営の基幹型地域包括支援センターの運営</li> <li>▶高齢者の健康・介護・権利擁護等の相談及び支援</li> </ul> </li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業の実施 (地域包括支援課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶要支援者・事業対象者に対する介護予防・生活支援サービスの提供</li> <li>▶地域の介護予防自主活動グループに対する支援</li> <li>▶地域のリハビリテーション専門職による、高齢者の介護予防自主活動グループ等社会参加に向けた支援</li> <li>▶訪問型短期集中予防サービスの実施</li> </ul> </li> <li>・在宅医療・介護の連携推進 (地域包括支援課) <ul style="list-style-type: none"> <li>▶在宅医療・介護連携支援センターの設置</li> <li>▶医療・介護サービスの連携による包括的・継続的な提供体制の構築</li> <li>▶医療・介護連携手帳の活用</li> </ul> </li> </ul>						

- ・健康増進のための啓発・教育・相談の充実（保健所健康課）
  - ▶望ましい生活習慣についての知識を普及させるための健康教育や健康相談の実施
- ・健康ウォーキングマップの周知（スポーツ推進室）
  - ▶ウォーキングマップの更新
- ・地域スポーツの振興（スポーツ推進室）
  - ▶各校区スポーツクラブ 21 が行う各種イベントの支援
  - ▶姫路市スポーツクラブ 21 協議会を通じたクラブ相互の交流事業

#### 基本目標 4：出産、子育てにやさしい社会を創生

##### 【成果指標】

合計特殊出生率（H26年→R2年〔登録人口ベース〕）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
1.55	1.57	1.53	1.55	—	—	1.65

女性（30～39歳）の有業率※（H24年→H29年）

H24	H29	H29（目標）
67.2%	71.1%	71%

「ワーク・ライフ・バランス」の認知度（H23年→H28年）

H23	H28	H28（目標）
46.2%	48.8%	70%

#### 施策⑬：ライフステージに応じた切れ目のない支援

##### 【重要業績評価指標(KPI)】

妊婦本人への面接率（H26年度→R2年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
96.8%	96.9%	96.6%	97.0%	96.54%	—	100%

保育所等利用待機児童数（H27.4.1→H33.4.1）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
69人	46人	126人	185人	165人	—	0人

ファミリーサポートセンターの提供会員及び両方会員数（H27.3.31→H33.3.31）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
718人	760人	787人	823人	841人	—	850人

#### 事業・事業内容

㊦教育・保育の提供体制の計画的な確保（こども政策課、こども保育課、教育企画課、学校施設課）

- ▶私立保育園・認定こども園（保育所部分）の整備補助
- ▶市立幼保一体化施設の整備、老朽化対策等
- ▶子ども・子育て会議の運営

㊦保育士確保対策の推進（こども政策課、こども保育課）

- ▶保育士等奨学金返済支援制度の創設
- ▶教育・保育業務に専従する一定の条件を満たす職員に処遇改善費を助成
- ▶保育士等への住居借り上げ支援

- ㊤ 放課後児童健全育成事業の充実（こども政策課）
  - ▶ 施設整備及び備品等の配置による生活環境の充実
  - ▶ 放課後児童クラブ運営について民間事業者の活用
  - ▶ 早朝開所事業の実施
  - ▶ 支援員の育成
- ㊤ 地域子育て支援拠点事業の充実（こども支援課、こども保育課、総合福祉通園センター）
  - ▶ 地域の子育て支援機能の充実
  - ▶ 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
  - ▶ 子育て、こどもの発達に関する専門的な助言、相談及び情報提供等を実施
- ㊤ 緊急時等における子育て支援の充実（こども支援課）
  - ▶ 病児・病後児保育事業の推進
  - ▶ ファミリーサポートセンター事業の実施
  - ▶ 産前・産後サポート事業の実施
- ㊤ 妊娠・出産包括支援の充実（保健所健康課）
  - ▶ 特定不妊治療費助成事業の拡充
  - ▶ 母子保健総合相談支援事業（全妊婦面接相談支援事業、妊娠出産包括支援事業ネットワークの構築）
  - ▶ 妊婦健康診査への助成
  - ▶ 新生児聴覚検査費の助成
  - ▶ 産後ケア事業（宿泊型、通所型、訪問型）の実施
  - ▶ 親子歯科保健事業の実施
- ・ 周産期医療提供体制の充実（保健福祉政策課）
  - ▶ 安定した周産期医療体制を構築するため、総合周産期母子医療センターに支援
- ・ 乳幼児等・こども医療費の助成（保健福祉政策課）
  - ▶ 中学生以下の子どもに対する医療費の助成
- ・ 児童センターを活用した子育て支援事業の充実（こども支援課）
  - ▶ 子育てに関する相談体制の充実
  - ▶ 講師派遣を通じた地域の子育て支援団体の育成
- ・ 利用者支援事業の充実（こども支援課、こども保育課）
  - ▶ 子育て中の保護者に対し保育所等の施設の利用を支援
  - ▶ 子育て中の保護者に対し地域の子育て支援施設等の利用を支援
- ・ 子どもを守る相談支援体制の充実強化（こども家庭総合支援室）
  - ▶ 児童家庭相談支援体制の強化
  - ▶ 要保護児童対策地域協議会の活性化
- ・ 第2子等の保育料軽減事業の実施（こども保育課）
  - ▶ 国の所得制限で補助対象から外れる第2子等の保育料を軽減
- ・ 幼児教育・保育の負担軽減（こども保育課・学校指導課）
  - ▶ 認可保育所・認定こども園の保育料の軽減
  - ▶ 認可外保育施設の利用料、認可・認定施設の預かり保育利用料等の軽減
  - ▶ 市立幼稚園の利用負担の軽減



- ・就学前教育と小学校教育の連携推進（こども保育課、学校指導課）
  - ▶共通カリキュラムの推進
  - ▶就学前教育と小学校教育の連携推進
  - ▶市立幼稚園と市立保育所・こども園の連携推進
- ・子育て世代包括支援センター※機能の充実（保健所健康課）
  - ▶子育てや健康に関する情報提供や相談機能の充実
- ・子育て世帯に対する家賃助成（住宅課）
  - ▶住宅確保要配慮者専用賃貸住宅に入居する低額所得の子育て世帯に対する家賃助成

**施策⑭：子ども・子育てを見守る地域活動の維持**

**【重要業績評価指標(KPI)】**

コミュニティ活動イベント開催助成事業の実施地区数 (H26年度→R2年度)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
64 地区	62 地区	63 地区	66 地区	69 地区	—	全 72 地区

スクールヘルパー※への登録者数 (H26年度末→R2年度末)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
15,887 人	16,804 人	16,700 人	16,804 人	16,547 人	—	16,000 人

- 事業・事業内容**
- ・こども見守り隊事業の推進（危機管理室）
    - ▶地域の学校及び子どもを地域全体で見守る事業に対する助成
  - ・コミュニティ活動に対する助成（市民活動推進課）
    - ▶地域団体が実施するコミュニティ活動等に対する助成
  - ・地域の新しい担い手づくりの推進（再掲）（生涯現役推進室）
    - ▶シニア世代の生きがいづくりや、地域活動への積極的な参画へつなげる講座の開催
  - ・スクールヘルパー制度の充実（健康教育課）
    - ▶地域ボランティアが行う登下校時の声かけ校内巡回等の活動

**施策⑮：仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進**

**【重要業績評価指標(KPI)】**

ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の回数 (H26年度→R2年度)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
8 回	6 回	6 回	7 回	9 回	—	10 回

- 事業・事業内容**
- ・男性の育児参加の促進（男女共同参画推進課）
    - ▶男性向け育児啓発冊子を活用した啓発
  - ・ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の開催（男女共同参画推進センター）
    - ▶ワーク・ライフ・バランスに関する啓発講座等の開催
  - ・仕事と家庭が両立できる環境づくりの促進（産業振興課、労働政策課）
    - ▶経済情報誌「ファイル」等を活用した先進的事業所の取組み紹介
    - ▶制度情報の提供による情報発信・啓発

**基本目標 5：播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生**

**【成果指標】**

播磨圏域連携中核都市圏※ビジョンに定める連携事業の進捗率 (H27年度→R2年度)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
—	94.3%	98.1%	100%	100%	—	100%
公共交通機関の乗車人員(人/日) (H26年度→R2年度)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
156,102人	161,070人	162,677人	165,237人	167,502人	—	167,502人
中心市街地の居住者数 (H22～26年度平均値→H28～R2年度平均値)						
H22～26	H23～27	H24～28	H25～29	H26～30	H27～R1	H28～R2(目標)
8,732人	8,842人	8,923人	9,237人	10,520人	—	10,500人

**施策⑯：連携中核都市圏構想による圏域の活性化**

**【重要業績評価指標(KPI)】**

播磨圏域連携中核都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率 (H27年度→R2年度)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
—	94.3%	98.1%	100%	100%	—	100% (目標)

**事業・事業内容**

- ・播磨圏域連携中核都市圏ビジョンの推進（地方創生推進室）
  - ▶播磨圏域 8市 8町の連携による圏域の魅力の向上

**施策⑰：地域課題克服による日常生活圏の充実**

**【重要業績評価指標(KPI)】**

空き家バンク※登録物件数 (H27年度末→R2年度末)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
—	11件	23件	25件	34件	—	40件
買物支援サービス事業の登録者数 (H27.3.31→R2.3.31)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
22人	43人	59人	60人	63人	—	55人
地域活動に対する支援（地域防災訓練）件数 (H26年度→R2年度)						
H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2 (目標)
503件	458件	645件	510人	554件	—	700件

**事業・事業内容**

- ⑯ 道の駅等の周辺地域を活性化する拠点施設の整備（企画政策推進室）
  - ▶観光ゲートウェイとしての必要な導入機能の検討
- ⑯ 医療情報連携システムの導入検討（保健福祉政策課）
  - ▶医療情報連携に係る研究会の開催
- ⑯ 地域活動に対する支援（危機管理室）
  - ▶地域防災リーダー育成事業の実施
  - ▶地域防災訓練モデル事業の実施
  - ▶避難所運営訓練等の指導
  - ▶自主防災会に対する防災資機材の支援
  - ▶自主防災会が実施する訓練資機材等の購入

- ㊤ ハザードマップ等を活用した災害危険情報の周知（危機管理室）
  - ▶ ハザードマップの更新
  - ▶ 地域巡回啓発事業の推進
  - ▶ 防災知識の普及啓発
- ㊤ AI等の最先端技術を活用した市民サービス効率化の推進（情報政策室）
  - ▶ 姫路市 AI チャットボットの運用
- ㊤ マイナンバー制度を活用した窓口サービスの向上（情報政策室）
  - ▶ 公的個人認証を活用したポータルサイトの運用及びサービス拡充
- ㊤ 路上喫煙禁止に向けた取組みの推進（美化業務課）
  - ▶ 路上喫煙禁止区域の拡充
  - ▶ 路上喫煙禁止の周知
- ㊤ 消防防災拠点施設等の強化（消防局総務課）
  - ▶ 各消防署の改修等による消防防災拠点の強化
  - ▶ 消防団詰所の耐震診断・改修
- ㊤ 救急体制の充実強化（救急課）
  - ▶ 救急搬送支援システムの導入に向けた試験運用及び検証
- ㊤ 家島群島からの救急搬送体制の確保（救急課）
  - ▶ 救急艇の操船体制の確保
  - ▶ 救急艇と民間事業者による家島地域全体の搬送体制の検討
- ・ がんばる地域応援事業の実施（地方創生推進室）
  - ▶ 人口減少地域へのアドバイザー派遣や助成など活性化応援事業の展開
- ・ 地域コミュニティ活動の拠点としての公民館の活用（市民活動推進課、生涯学習課）
  - ▶ 公民館を拠点とする地域の課題解決に向けた組織作り、事業計画づくりを支援
  - ▶ 自治会組織の活動充実を図るため、公民館等に行政事務補助員を配置
  - ▶ 小学校区単位の地域活動の場の在り方について、関係課と協議調整
  - ▶ 各種講座、リーダー育成の集い、学習発表会を実施中
- ・ まち美化運動の推進（美化業務課）
  - ▶ 全市一斉清掃の推進
- ・ 水素社会に向けた取組み（環境政策室）
  - ▶ 水素ステーションの整備促進
  - ▶ 燃料電池自動車の普及促進
- ・ 北西部活性化の拠点づくり（環境政策室）
  - ▶ 姫路市伊勢自然の里環境学習センターの管理運営
- ・ 環境意識の啓発（環境政策室）
  - ▶ 緑のカーテンの普及啓発
  - ▶ ひめじ環境フェスティバルの開催
  - ▶ 環境ヒーローによる環境啓発活動の実施（本掲）
  - ▶ クールチョイス普及啓発

- ・医療系高等教育・研究機構の整備に係る検討（保健福祉政策課）
  - ▶イベントゾーン※における医療系高等教育・研究機構の具体化に向けた検討
- ・医療提供体制の充実（保健福祉政策課）
  - ▶臨床研修病院と連携し、医学生向け就職説明会へ参加
  - ▶臨床研修医への奨励金貸与による医師の養成及び確保
- ・後送医療機関におけるベッド及び医療従事者の確保（保健福祉政策課）
  - ▶休日・夜間急病センターで対応できない重症患者を受け入れる後送医療機関への支援強化
- ・新県立病院整備に向けた医療機能等の検討（保健福祉政策課）
  - ▶新県立病院の医療機能の充足・確保
  - ▶課題検討に向けた地域医療連絡会議の開催
- ・南西部地域の医療提供体制の確保（保健福祉政策課）
  - ▶製鉄記念広畑病院姫路救命救急センターが安定的に運営できるよう支援
  - ▶（医）三栄会による製鉄記念広畑病院跡地活用への支援を検討
- ・救急医療方策に関する指針の推進（保健福祉政策課）
  - ▶救急医療施策を体系的、一体的に推進
- ・買物支援サービス事業（高齢者支援課）
  - ▶買物不便地域における買物送迎バスに対する助成
- ・地区計画制度の活用（都市計画課）
  - ▶「地区計画制度」による地域にふさわしいまちづくりの推進
- ・特別指定区域制度の活用（まちづくり指導課）
  - ▶住民が設置した「まちづくり協議会」による地区土地利用計画の策定支援
  - ▶地区土地利用計画で定めた取組み等の実施を支援
- ・空き家バンク※、リフォームの促進（本掲）（住宅課）
  - ▶空き家バンクの情報発信
  - ▶空き家の交流施設等としてのリフォームに対する助成
- ・棚田踏切立体交差事業の推進（区画整理課）
  - ▶棚田踏切の立体交差化により、安全な通学路の確保と交通の利便性を向上
- ・生活圏を結ぶネットワークの構築（交通計画室）
  - ▶公共交通空白不便地域におけるコミュニティバス等地域公共交通の導入
  - ▶デマンド型乗合タクシーの本格運行
  - ▶家島及び坊勢コミュニティバスの運行
- ・地方路線バス維持事業（交通計画室）
  - ▶日常生活に不可欠なバス路線の維持確保
- ・家島諸島の離島航路の維持（交通計画室）
  - ▶家島航路における利便性の向上策の検討
  - ▶坊勢航路における航路運営体制のプラン作成
  - ▶離島航路補助

- ・下水道資源の有効活用（下水道整備室、下水道管理センター）
  - ▶下水熱の有効活用の調査検討
  - ▶下水汚泥の有効活用の推進
- ・市内鉄道駅周辺整備の推進（鉄道駅周辺整備室）
  - ▶山陽電鉄大塩駅の交通結節点機能の整備
  - ▶JR 姫路・英賀保間新駅の整備計画推進
  - ▶JR 英賀保駅の北側改札口と自由通路の整備
  - ▶山陽電鉄飾磨駅周辺の踏切対策
- ・姫路市水道ビジョンに基づく施設耐震化等の推進（水道局建設課・浄水課）
  - ▶水道ビジョンに基づく施設及び管路の更新
  - ▶浄水場運転管理業務の民間委託の推進
- ・消防団活動の活性化（消防局総務課）
  - ▶車両・資器材の充実強化
  - ▶消防団インターンシップ事業「スマート消防団にズームイン！」
- ・大規模災害を踏まえた災害対応力の強化（警防課）
  - ▶密集市街地における防火対策の推進
  - ▶ドローンを活用した情報収集機能の強化
  - ▶消防指揮隊の充実強化
- ・医療機関との連携強化（救急課）
  - ▶救急ワークステーション事業の拡充
  - ▶新県立病院での事業実施に向けた調整
- ・火災予防体制の充実強化（消防局予防課）
  - ▶住宅用火災警報器の設置と維持管理に関する広報の強化

**施策⑩：高次都市機能※の集積等による中心市街地活性化の強化・推進**

**【重要業績評価指標(KPI)】**

中心市街地商店街の空き店舗減少数（H26年度→R2年度）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2（目標）
37 店舗	36 店舗	34 店舗	36 店舗	31 店舗	—	28 店舗

**事業・事業内容**

㊦ 日本城郭研究センターの整備（城内図書館）

- ▶老朽化に対応するための建築設備の改修

㊧ 手柄山中央公園再整備の推進（スポーツ推進室、公園整備課）

- ▶市民プール・ひめじ手柄山遊園解体撤去工事
- ▶手柄山中央公園整備基本計画に基づくスポーツ施設整備
- ▶ロックガーデン改修等

㊨ 中心市街地商店街空き店舗対策事業（産業振興課）

- ▶中心市街地商店街の空き店舗への出店者に対する助成

- ㊦ まちなか遊休不動産※等の活用促進（産業振興課）
  - ▶ 姫路駅西地区を対象としたリノベーションスクールを開催
  - ▶ まちなか遊休不動産等の活用主体への支援
- ㊦ 回遊性を高める大手前通りの再整備（産業振興課）
  - ▶ 大手前通り活用チャレンジの実施と効果検証
- ㊦ 中心市街地における駐輪対策の推進（道路総務課）
  - ▶ 市営地下駐輪場のトイレ洋式化等設備の更新
  - ▶ 路上駐輪場の新設・増設
  - ▶ 放置自転車の解消に向けた対策の実施
- ・ 姫路城跡中曲輪施設整備方針の推進（企画政策推進室）
  - ▶ (仮称)世界遺産・姫路城ミュージアム整備基本構想の検討
- ・ Wi-Fi サービスの向上（産業振興課）
  - ▶ 中心市街地商店街における公衆無線 LAN サービスの向上
- ・ 優良建築物等整備事業の推進（都市計画課）
  - ▶ 土地利用の共同化、高度化等に寄与する優良建築物等の整備を支援
  - ▶ 老朽化マンション建替え等に対する助成
- ・ シェアサイクルの推進（交通計画室）
  - ▶ シェアサイクル（姫ちやり）の運営
  - ▶ シェアサイクル移設事業
- ・ JR 姫路駅南側の環境整備（姫路駅周辺整備室）
  - ▶ JR 姫路駅南側側道の歩道再整備による快適な歩行空間の創出
- ・ イベントゾーン※の整備（文化コンベンション施設整備室）
  - ▶ 姫路市文化コンベンションセンターと周辺施設を一体的に整備

## 施策⑱：行政マネジメントの強化

### 【重要業績評価指標(KPI)】

地方創生に係る意見聴取者数（H28～R2 年度累計）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	H28～R2 累計（目
—	—	89 人	167 人	217 人	—	400 人

行政情報分析基盤を活用する組織数（H28～R2 年度累計）

H26	H27	H28	H29	H30	R1	H28～R2 累計（目
—	—	2 部署	4 部署	7 部署	—	9 部署

### 事業・事業内容

- ㊦ 新たな社会課題解決のプロジェクトの推進（地方創生推進室）
  - ▶ 社会課題解決のため、ICT 事業者等と協働で社会実験(Urban Inovation Japan 事業)
- ㊦ SDGs 等に係る播磨圏域企業動向調査（地方創生推進室）
  - ▶ 持続可能な播磨を目指すため、企業の SDGs への取り組み状況等を調査・研究
- ㊦ 地方創生に関する市民対話の充実（企画政策推進室・地方創生推進室）
  - ▶ 総合計画策定に向け市民と市長が意見交換を行うタウンミーティングを実施
  - ▶ ワールドカフェ方式を活用したタウンミーティング「ひめじ創生カフェ」の実施(再掲)

- ㊦ 民間企業との連携協定を活用した具体的事業の推進（地方創生推進室）
  - ▶ 第一生命グループとの連携（金融・保険・スポーツなどに係る教室の開催等）
  - ▶ イオン（株）との連携（未来屋書店でのほりま読本等の販売等）
  - ▶ 三井住友、みなと銀行との連携（自治体と企業とをマッチングし地域課題を解決）
  - ▶ 東京海上日動火災保険（株）との連携（教室・セミナーの開催等）
  - ▶ （株）神戸新聞社との連携（がんばる地域応援事業への参画等）
- ㊦ 働き方改革の推進（地方創生推進室、人事課、情報政策室）
  - ▶ テレワーク※貸出端末の導入による利用促進
  - ▶ 認証プリント機能の拡充検討
- ㊦ 行政情報分析基盤による業務改革の推進（情報政策室）
  - ▶ 行政情報分析基盤の利用促進及び分析機能の拡充
- ㊦ AI等の最先端技術を活用した業務効率化の推進（情報政策室）
  - ▶ AIやRPA※等の最新技術を活用した業務効率化の推進
- ㊦ 公共施設等総合管理計画の推進（行財政改革推進課）
  - ▶ 公共施設白書の作成
- ・ ひめじ創生チャレンジ事業（地方創生推進室）
  - ▶ 提案事業を試験的に実施し、翌年度以降事業化を検討
  - ▶ 連携協定に係る提案事業を試験的に実施し、翌年度以降事業化を検討

## 6. 推進体制

事業の推進にあたっては、市民との協働や産官学金労言の連携がより活発になるよう創意工夫に努め、下記の体制で取り組む。

### (1) ひめじ創生推進本部

全庁を挙げて事業を推進するため、庁内組織として「ひめじ創生推進本部」を設置する。

ひめじ創生推進本部は、市長を本部長とし、市長の強力なリーダーシップのもと戦略を推進する。

### (2) ひめじ創生戦略会議

有識者の専門的見地や市民目線から提言と評価を行うため、市長附属機関として、「ひめじ創生戦略会議」を設置する。

ひめじ創生戦略会議の委員は、市民をはじめ、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア（産官学金労言）で構成する。

### (3) 市民対話の充実

地方創生に関する市民対話の場を創出し、多くの市民からの意見聴取を行うとともに、施策・事業に反映する。

### (4) 進行管理

計画（PLAN）、実行（DO）、考察（CHECK）及び改善（ACTION）を重視する「PDCA サイクル」により進行管理を行う。また、各段階において現状把握・分析を行うことによって、早い段階で修正を図れるようにする。

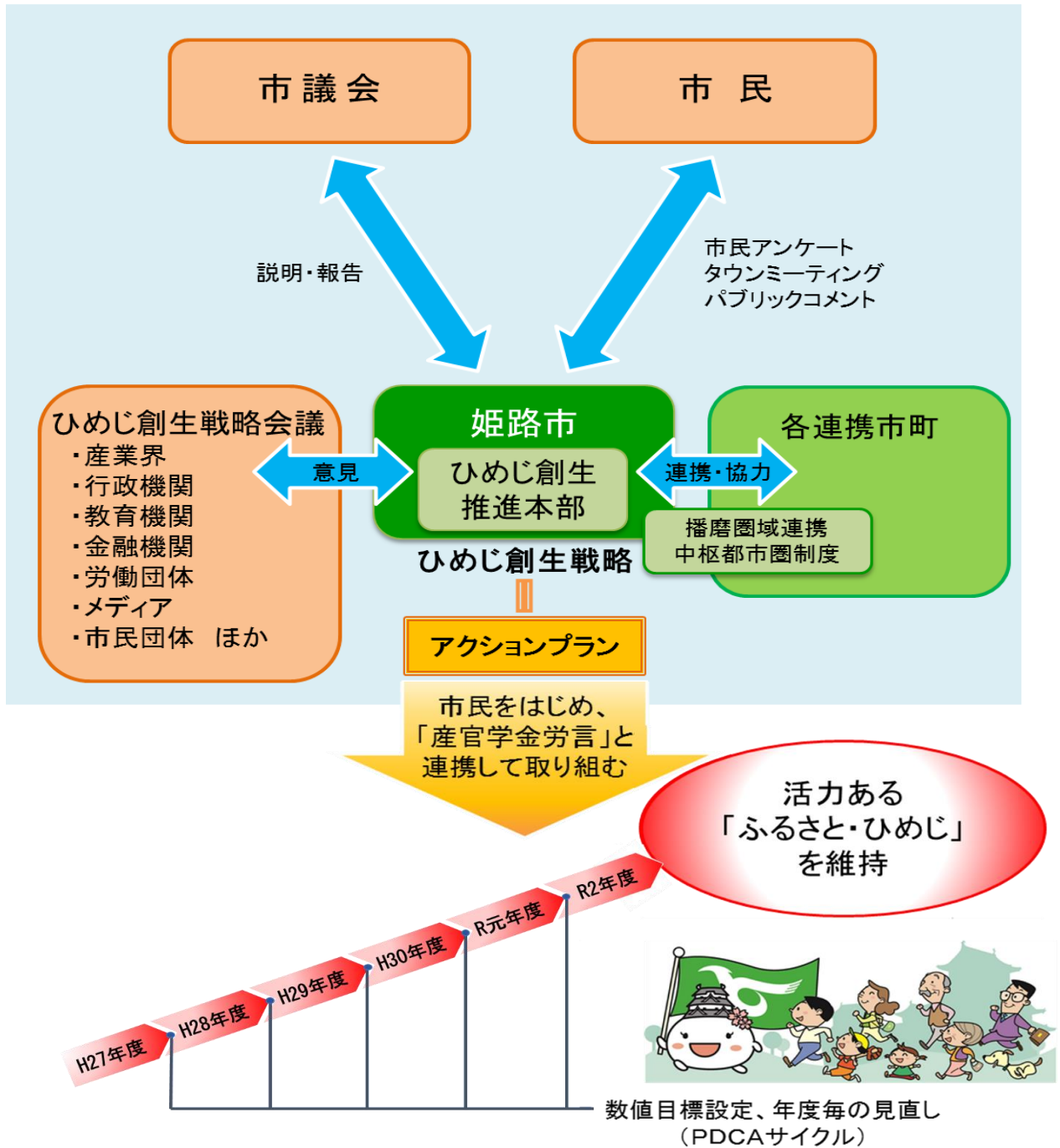
現状把握・分析については、ひめじ創生戦略会議の意見や市民対話の活用等により、広く市民意見を捉える。さらに、本市を取り巻く社会経済情勢等を分析し、取組みの方向性を明確にする。

「PDCA サイクル」の過程で、「A(改善)」における取組み及び手法の見直しを「P(計画)」に反映させることより、戦略の内容を充実し、スピード感を持って取り組むことを目指す。

具体的には、年度ごとに個々の取組み進捗状況や内容について評価・考察し、必要に応じた見直しを行う。



# ひめじ創生戦略推進体制



## 7. 各局の地方創生に対する取組みの方針（令和2年度）

令和2年度における本市各局の地方創生に対する取組みを以下のとおり掲げる。

### (1) 市長公室

ひめじ創生戦略については、新しく策定する総合計画との統合に向け、期間を1年度延長したため、6年度目を迎え、また、播磨圏域連携中枢都市圏※ビジョンについては、改定を行い、新しいビジョンがスタートする。

特に高校生を対象に姫路市の良さを情報発信する「つたえる」、民間企業との連携協定や播磨圏域内の市町と「つながる」ことに焦点をあて、新たな事業の展開を図るため、高校生などの若者と行政の取組みを有機的につなぎ、若者がまちづくりへ関心を持つきっかけとなる取組みを推進する。

また、多様化する行政課題へ地方創生の観点から対応するため、ICT事業者と課題を抱える行政職員が協働して、課題の最適な解決手法を設計・実装を図る。

さらに、日本遺産登録認定を受けた「銀の馬車道・鉾石の道」の魅力を活かし、地域の力が紡ぐ元気な地域づくりを推進するため、沿線市町や関係団体、兵庫県下の日本遺産認定市町との連携を深め、賑わいの創出に取り組む。

併せて、昨今の頻発する災害に対応するため、市民の災害時における「自助」「共助」の重要性の認識を高め、地域主体の防災対策の推進に取り組む。

播磨圏域内の企業等において就業する若者の奨学金返還を支援し、未来を支える若者の地元への定着を図り、地域産業を支える優れた人材を確保する。

### (2) 総務局

職員のワーク・ライフ・バランスの実現を支援するとともに、働き方改革を推進するため、テレワーク※が利用しやすく、効果的に利用できるようにパソコン機器などの環境を充実させる。

また、市民の利便性の向上及び行政事務の効率化、手続きの簡素化を図るため、マイナンバー制度を活用した窓口サービスの向上に取り組む。

さらに、行政サービスの最適化のため、証拠に基づいた政策立案（EBPM）を推進するとともに、業務改革にデータを活用することができる人材育成に取り組み、庁内ビッグデータ※による行政情報分析基盤の機能充実を図る。

併せて、自治体業務の自動化・省力化を推進するため、AIやRPA※等の最先端技術を活用したシステムの導入を検討する。

今後生じる施設の維持管理経費については、将来の世代に先送りしないため、公共施設のあり方の検討や保有量の見直しのほか、施設の劣化状況を一元管理したうえで計画的かつ適切な予防保全を行い、施設の長寿命化を図る。

### (3) 財政局

ふるさと納税を促進するため、制度のPRを充実させるとともに、適正な制度運用に努める。

また、市税の納税を通じて市政に貢献され、その功績が顕著な者への感謝の意を表するため、地域貢献納税感謝状を贈呈する。

#### **(4) 市民局**

持続可能なコミュニティ活動を充実させるため、地域活動の実証実験、組織づくりや事業計画づくり、自治会等の活動に必要な資機材の整備などに対して支援する。

また、次世代の担い手を育てるため、学生向けの夏休みボランティア体験事業やボランティアメニューの充実など、ボランティアのきっかけづくりとなる機会を増やすとともに、若年層向けに様々な媒体を活用して情報発信を行う。

さらに、ワーク・ライフ・バランスを推進するため、講座やチャレンジ支援セミナーのメニューの中に、若者世代が積極的に参加したいと思うテーマを取り入れるなど内容の工夫を図るとともに、播磨圏域連携中枢都市圏構想のもと、広域としても啓発に取り組んでいく。

#### **(5) 環境局**

地球温暖化対策として、利用段階において二酸化炭素を排出しない水素をエネルギーとして利用する水素社会の実現に向け、水素ステーションの整備及び燃料電池自動車の普及の促進を図る。

また、ごみのない美しいまちづくりを推進するため、ボランティア清掃活動の支援や、全市一斉清掃をはじめとした美化キャンペーンを実施することで美化意識の高揚を図るとともに、姫路城周辺において環境ヒーロー・サムライガーを活用した環境啓発活動を行う。さらに路上喫煙禁止区域の拡充を検討する。

併せて、播磨圏域住民の環境意識啓発のために、圏域内市町と協力・連携し、ひめじ環境フェスティバルや緑のカーテンコンテストなど各種イベントを実施する。

#### **(6) 健康福祉局**

仕事と子育ての両立を支援するため、待機児童の解消に向けた地域に応じた教育・保育の提供体制の基盤整備や、保育士等確保対策を推進するとともに、放課後における児童の受け入れ数拡大を図るため、放課後児童クラブの施設整備や民間放課後児童健全育成事業者を活用する。

また、出産、子育てにやさしい社会を創生するため、親子が気軽に集い、交流する場を提供し、地域子育て支援拠点を充実させるとともに、緊急時等における子育て支援の充実を図るため、病児・病後児保育事業の推進を図る。

さらに、要介護（要支援）認定に至らない高齢者の増加に対応するため、地域の自助活動による支えあいの体制づくりを推進するとともに、高齢者の社会参加の促進や介護予防の充実を図る。

併せて、効果的で効率的な医療・福祉サービスの提供を可能とする仕組みの構築に向けて取り組んでいく。

## (7) 観光交流局

観光事業における地域の稼ぐ力を醸成するため、姫路コンベンションビューローの機能強化を図るとともに、DMO化に向けた取組みを行う。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、東京2020オリンピック聖火リレーの実施やフランス柔道選手団の事前合宿の実施のほか、インバウンド需要の高まりを活かした観光キャンペーンや旅行エージェント等へのPRなど積極的なシティプロモーションを展開する。

さらに、多様な観光の推進、外国人観光客の受け入れ体制の充実のため、姫路城等で忍者を活用したツアーを開催するとともに、オンライン旅行社を活用して、宿泊客の増加に向けた誘客活動を展開する。

併せて、文化コンベンションセンターの開館に向けて、東京・大阪に本部を置く学会や大会の主催団体への誘致活動を展開するとともに、MICEブランドロゴマーク等を作成しPR活動を強化する。

## (8) 産業局

市民農園の利用促進及び農業の担い手を確保するため、ICTを活用した遠隔操作による栽培や農業に関するSTEM※教室を開催し、スマート農業の推進を図る。

また、近年の健康意識の高まりを踏まえ、姫路市北部で栽培されるハーブを活用した「ハーバルヘルスツーリズム」の観光コンテンツを開発し、健康寿命の延伸につながる新たなビジネスモデルを構築するとともに、ハーブや野菜等の安定供給を担う新規就農者の育成を支援するため新規就農者育成支援型の農園を運営する。

さらに、播磨圏域内企業の海外での販路開拓のため、海外で開催される見本市に出展し、海外バイヤーとの商談会に参加するとともに、地域ブランドの価値を高めるため、バイヤーを招聘した視察ツアーを開催する。

併せて、企業集積の維持・強化を図るために、オフィス立地に関する投資意向について調査するとともに、様々な企業ニーズに応えられる工場用地の確保に努め、工場等の新增設に対する奨励金や低利融資など、企業立地を促進させる取組みを強化・充実させる。

若者やUJIターン者が地元の企業に就職するため、民間賃貸住宅家賃等を助成するとともに、県と連携し地域の企業情報等を集約したポータルサイト「JOB 播磨」を運営することで、地元企業の魅力を広く発信し地域産業を支える優れた人材の確保を図る。

## (9) 都市局

適正に管理されている空き家等については、「空き家バンク※」の登録を働きかけるとともに、地域の活性化を図るため、登録された空き家を交流施設等として活用するために要する改修費用を助成し、空き家の利活用を推進する。

また、低額所得である子育て世帯が安心して賃貸住宅に入居し暮らすことができるように、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅事業の登録住宅のうち、住宅確保要配慮

者専用賃貸住宅に入居する低額所得の子育て世帯に対して家賃助成する。

さらに、日常生活圏を充実させ多核連携型都市構造の構築を進めるため、公共交通サービス水準の維持・確保や交通結節機能の向上を図るとともに、公共交通空白・不便地域においては、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシー等の運行により、解消に努める。

併せて、近年の市街化調整区域における人口減少・少子高齢化による地域の活力低下に対応し地域コミュニティを維持するため、特別指定区域制度や地区計画制度を活用し、住民主体のまちづくりを推進する。

## (10) 建設局

都市の美観を維持し安全で快適な空間を確保するため、中心市街地及び鉄道駅周辺等において放置自転車の解消に向けた取組みを進めるとともに、駐輪場の適切な管理運営及び設備の更新等を行う。

また、手柄山中央公園整備基本計画に基づき、「感動と笑顔あふれる憩いの交流空間の創出」を目指し、多様な利用者ニーズに対応した利便性の高い施設整備を行う。

## (11) 下水道局

従来地下水を排除・処理する一過性のシステムから、下水が有している資源・エネルギーを活用・再生する循環型システムへと転換する下水道資源の有効活用について取組みと検討を行う。

また、下水熱については、公共施設への下水熱利用システムの導入や民間事業者等の需要へ対応するための環境整備に向けた研究を行う。

## (12) 都市拠点整備本部

幅広い世代の市民や国内外の人々が集う多様な交流活動の拠点として、2021年9月のオープンを目指し、姫路市文化コンベンションセンターを整備し、全庁が一体となって関係機関と連携しながら、本市の魅力を発信できるよう効果的に活用する。

また、指定管理者、文化国際交流財団、姫路観光コンベンションビューロー等と連携して、センターの複合的な機能を活かしながら、継続的に賑わい・交流等の事業を展開し、若者が播磨の魅力を発信及び認識する機会を創出し、都市の発展や中心市街地の活性化を図る。

さらに、センターの開館を周知し、開館機運を盛り上げながら本市やセンターの知名度を向上させるとともに、観客や事業者等のリピーターの定着によりその後の持続可能な施設運営に繋げていくため、プレ期間、開館記念期間、重点実施期間からなるオープニングシリーズを約3か年にわたり実施し、各段階において適切な事業展開を図る。

併せて、手柄山中央公園整備基本計画のスケジュールに合わせて、JR 姫路・英賀保駅間に新駅を整備するため、JR 西日本等関係機関と調整していく。

### (13) 水道局

人口減少等による水需要の減少を見据え、姫路市水道ビジョンに基づき、老朽化が進んだ水道施設及び管路を計画的に更新していくなど、最小の経費で安全で良質な水道水を安定して供給することを基本理念とし日常生活を充実させる。

また、民間委託の推進により浄水場勤務経験者が減少していくため、受託者と連絡を密にして情報共有に努め、運転管理マニュアルの充実を図っていく。さらに、過去の異常事象とその対応方法をデータベース化することにより、経験に依らない浄水処理技術の継承を行う。

### (14) 消防局

救急搬送時における受け入れ先医療機関の選定が困難な症例等の解消、現場滞在時間縮減への対策として、救急搬送支援システムの導入に向けた試験運用及び検証を行うとともに、救急ワークステーション事業を拡充し、県立はりま姫路総合医療センターでの事業の実施に向け調整を図る。

また、大規模化する自然災害や南海トラフ地震に対して、地域防災力の強化が必要であるため、各消防署の改修及び消防団詰所の耐震診断・改修を行い、消防防災拠点の強化を図る。

### (15) 教育委員会

教職員の多忙化の解消を推進するため、教員の授業補助等を行う「ひめじスクール・サポートスタッフ」及び部活動指導員を配置する。

また、小中一貫教育の一層の推進と特色ある教育活動を展開するため、義務教育学校や併設型小・中学校について研究を深め推進するとともに、地域の人的・物的資源の効果的な活用を推進し、コミュニティ・スクール※の充実に努める。

さらに、協働型学習など多様な教育活動を推進するとともに、ICTを活用した質の高い教育環境を実現しすべての学習基盤となる情報活用能力を伸長させるため、ICT活用環境や学習教材等の充実を図る。

併せて、情報・文化を提供する生涯学習の拠点施設である日本城郭研究センターについて、施設の老朽化に対応するため、設備改修を行う。

## 用語解説（50音順）

### 空き家バンク（→ P. 5、17、26、34）

主に自治体が、所有者と利活用希望者を結びつけ、空き家の有効活用を促進する制度。

### 入込客（→ P. 2、4、13）

姫路市内の観光地及び行祭事・イベントなどを訪れた来訪客、入場者の延べ人数。

### インバウンド（→ P. 4、7、15）

ここでは訪日外国人旅行もしくは訪日外国人旅行者を指す。

### イベントゾーン（→ P. 26、28）

鉄道高架事業により、JR 姫路駅の東側に新たに生み出された街区。イベントゾーンには、「知と文化・産業の交流拠点」を整備コンセプトに、「文化・交流活動の拠点機能」、「創造・交流活動を支援する機能」、「展示機能」、「会議・コンベンション機能」及び「高等教育・研究機能」の導入が進められている。

### カリキュラム・マネジメント（→P17）

学校内外の人的・物的資源を効果的に活用し、教育活動を組織的・計画的に行うこと。

### 高次都市機能（→ P. 5、7、27）

都市機能のうち、日常生活圏を超えた広域の人々を対象に、質の高いサービスを提供する機能。

### 子育て世代包括支援センター（→ P. 23）

妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談支援を行うワンストップ窓口。保健センター等4か所に設置。

### コンベンション（→ P. 4、14）

国際機関・団体、学会等が行う国際会議。広義には集会や会議、大規模な見本市や催し物などの総称。

### スクールヘルパー（→ P. 5、23）

姫路市では平成16年度に「スクールヘルパー制度」が始まり、学校安全ボランティアとして学校の安全確保に組織的に取り組んでいる。

### テレワーク（→ P. 29、32）

「tele=離れたところで」と「work=働く」をあわせた造語。情報通信技術を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のことを指す。

#### 市内ビッグデータ（→ P. 32）

本市が保有する住民情報等の業務データを、個人が識別できないように抽象化したデータの集合体。

#### 遊休不動産（→ P. 28）

ほとんど有効活用されていないビルや空き家、土地、廃校等。

#### 有業率（→ P. 5、19、21）

15歳以上の人口に占める有業者（ふだんの状態で収入を得ることを目的として仕事をしており、今後も続ける予定の者及び仕事は持っているが現在仕事を休んでいる者）の割合。

#### 連携中枢都市圏（→ P. 3、5、7、10、24、32）

地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が「連携中枢都市宣言」を行い、近隣の市町村と連携協約を締結することにより形成される圏域。人口減少・少子高齢社会においても、コンパクト化とネットワーク化により一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための拠点形成を目的とする。

#### MICE（→ P. 4、7、14）

企業等の会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字をとった造語。地域への大きな経済効果や新しいビジネス、イノベーションへのつながりが見込まれるビジネスイベント等の総称。

#### RPA（robotic process automation）（→ P. 9、29、32）

人が行う単純作業や反復作業、簡易なエラーチェック作業など、定型的な事務作業を、ソフトウェアロボット等に代行させ、自動化すること。

#### STEM（→ P. 34）

科学・技術・工学・数学の教育分野の総称。科学技術開発の競争力向上に貢献するもの。



ひめじ創生戦略〔アクションプラン〕令和2年度改定版  
令和2年（2020年）3月

■発行／姫路市 市長公室 地方創生推進室

〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地

TEL (079) 221-2832

[http://www.city.himeji.lg.jp/s10/2212381/\\_33984.html](http://www.city.himeji.lg.jp/s10/2212381/_33984.html)